

稲作情報

(成熟期～稲刈り後の管理)

令和3年度第6号

令和3年9月15日発行

福島県喜多方農業普及所、JA会津よつば、

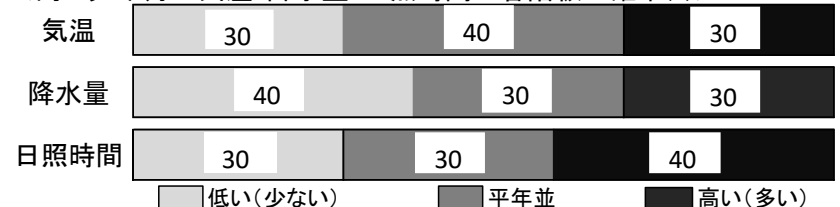
喜多方市、北塩原村、西会津町

天気予報

<1か月予報> (9/2 仙台管区气象台 発表)

天気は数日の周期で変わります。向こう1か月の平均気温は平年並みの確率40%、降水量は少ない確率40%、日照時間は多い確率40%です。

<向こう1ヶ月の気温・降水量・日照時間の各階級の確率(%)>



これまでの生育状況

<生育状況>

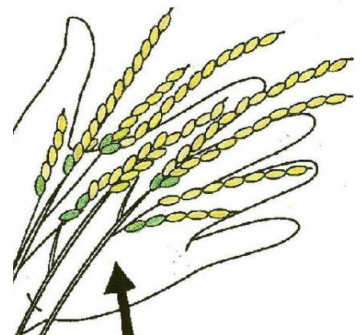
出穂期は、概ね平年並みとなりました。出穂後の登熟は概ね良好ですが、風雨による褐変粒が散見されています。なお、東北農政局が公表した8月15日時点の作柄は「平年並み」です。

<病害虫等の発生状況>

病害は、紋枯病の発生が見られます。害虫は、斑点米カメムシ類の発生が全域で多く見られます。また、ノビエやクサネム等の残草の多いほ場が見られます。

適期刈取り

- 出穂後の積算気温を大まかな刈取りの目安とし、刈取り作業の準備を行いましょう(表1)。
ひとめぼれは950~1,000℃、五百万石・天のつぶは1,000℃前後、コシヒカリは1,000~1,050℃が刈取り適期の目安です。
- 実際の刈取りは、必ず籾の黄化率(85~90%)を確認してから行いましょう。特に、天のつぶは、刈取適期になっても上位葉や穂首、枝梗に「青み」が残る品種ですので、注意してください。
- 早刈りすると青未熟や死米が多くなり、刈り遅れると乳白粒や茶米、胴割粒などの発生が多くなり品質が低下します。



籾全体のうちの85~90%が黄化した時が刈取り適期です。

表1 出穂期と積算温度から見た収穫適期の目安

出穂日	アメダス喜多方				アメダス西会津			
	刈取適期			刈遅れ	刈取適期			刈遅れ
	950℃	1,000℃	1,050℃	1,200℃	950℃	1,000℃	1,050℃	1,200℃
8/1	9/11	9/14	9/16	9/24	9/13	9/15	9/18	9/26
8/5	9/17	9/19	9/22	9/30	9/19	9/21	9/24	10/3
8/10	9/24	9/27	9/30	10/9	9/26	9/29	10/2	10/11
8/15	9/30	10/3	10/6	10/16	10/2	10/5	10/8	10/19

※ 9月7日までは本年の観測値。これ以降は平年値で計算。

収穫・乾燥時の注意点

- ・収穫は、朝露がある程度消えてから行いましょう。葉が濡れていると、コンバインの脱穀部の網目が詰まり故障等に繋がる可能性があります。
- ・刈り取った籾は速やかに乾燥機に張り込みましょう。3時間以上放置するとヤケ米（光沢の無い茶～黒色の米）になってしまいます。
- ・1時間当たりの乾燥速度（毎時乾減率）は0.8%以下としましょう。急激な乾燥は胴割粒の発生を助長します。

土づくりのすすめ ～稲わら焼却防止～

稲わら焼却は、貴重な有機資源を喪失するだけでなく、地域住民から煙害に対する苦情が寄せられるほか、火災発生の危険性、交通障害、観光地のイメージダウンなどに繋がります。また、有機物を施用せず、稲わらの焼却を続けると地力の低下にも繋がります。

秋のすき込みを行い、地力向上に努めましょう。また、稲わらの有効活用のため、堆肥化や園芸作物への活用、畜産農家への提供もおすすめします。

<稲わらのすき込み効果>

- ・堆肥施用と同等の土づくり効果が期待できます。
- ・土壌の保水力や窒素供給力が向上し、米の品質向上に結びつきます。

<稲わらのすき込み方法>

- ・すき込みは10月中旬頃までに行い、耕深は浅めの5～10cmとしてください。
- ・腐熟を促進させるための資材（土壌改良資材や石灰窒素等）を活用しましょう。

雑草イネは見つけたら即対策を！

雑草イネの発生が拡大しています。ほ場で栽培品種と姿の異なる稲を見かけたり、玄米に赤米が混じったりしていたら、以下の対策を徹底しましょう。

- ・雑草イネを見つけたら株ごと抜き取り、埋没して処分します。
 - ・種の持ち出しを防ぐため、雑草イネが生えているほ場での稲刈りは最後に行いましょう。
 - ・収穫物に雑草イネ（赤米）が混入している場合は、色彩選別機により除去してください。
 - ・除草剤の体系処理を行います。今年の収穫後に非選択性除草剤を処理し、翌年の本田期間には初期剤、初中期一発剤、中期剤を組み合わせた防除を行います。
- 詳細については、普及所、JAにお問い合わせください。

9～10月は秋の農作業安全運動推進月間です。収穫期を迎え、大型機械の作業が増える時期です。点検時はエンジンを止めるなど基本を守り、農作業事故防止に努めましょう。

★本情報の内容や米づくりに関するお問い合わせ、相談はこちらへどうぞ。

会津農林事務所喜多方農業普及所

TEL 0241-24-5744

JA会津よつば喜多方営農経済センター営農振興課

TEL 0241-21-1801